



介護者だより No.277

平成24年9月1日
多可町社会福祉協議会発行

9月になりましたが、まだまだ厳しい暑さが続いていますね。お元気にお過ごしでしょうか。8月は「排泄ケアが暮らしを変える！！」をテーマに介護講演会を行いました。講師は、京都市にある日本初の排泄用具の情報館「むつき庵」代表の浜田きよ子氏。浜田氏は、母親の介護経験をきっかけとして、排泄ケアが介護を受ける人の暮らし全体に関わることを実感され、「排泄に特化して相談できる場所」として2003年に「むつき庵」を設立し、排泄用具の第一人者として活躍されています。※「むつき庵」ホームページは、『<http://www.mutsukian.com/>』。今回の介護のポイントは、浜田氏の著書『排泄ケアが暮らしを変える』より“テープ止め紙おむつの基本的なあて方”について書いております。ぜひお読みください！



介護のポイント

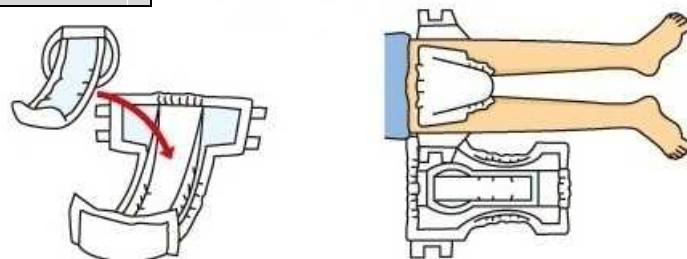
テープ止め紙おむつの基本的なあて方

テープ止め紙おむつは、寝たきりの人でも介護者が楽におむつ交換できるように考えられたものです。中に尿パッドを入れて使うのが一般的。介護する人は尿パッドだけの交換で済むので楽ですし、費用も安くなります。ただ、紙おむつの中に尿パッド1枚という原則があまり知られておらず、2枚、3枚と使っている場合があります。何枚も重なるとモコモコになるし、非常に不快。また、股間が開くので姿勢も崩しやすくなります。夜間など、尿の吸収量が気になるなら、大きめの尿パッドもありますので、それを使いましょう。

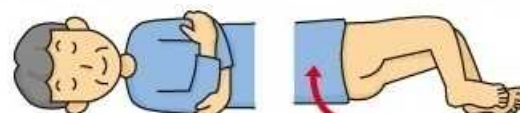
ほとんどのテープ止め紙おむつには、尿漏れを防ぐために立体ギャザーがついています。尿パッドは紙おむつの中に置くだけでなく、この立体ギャザーの内側に入れ、外側に立体ギャザーがくることが大原則。また、尿パッドは股間にきちんと当てましょう。

ところで、尿パッドの代わりにフラット(大きな紙シート)が使われていることがあります。フラットは紙おむつとして最初につくられたもので、尿パッドではありません。テープ止め紙おむつの立体ギャザーの中に入らないし、無理矢理入れるとギャザー部分が低くなり、横から尿がモれます。通気性もなく蒸れやすいので、尿パッド替わりに使わないようにしたいものです。

参考文献 『排泄ケアが暮らしを変える』
浜田きよ子著 ミネルヴァ書房



①尿パッドをおむつ本体の立体 ②古いおむつの前部分を外し、パッドをギャザーの内側に入れ込む。入れた新しいおむつは横に置いておく。



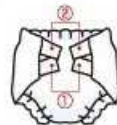
③両手を胸の辺りで組み、両足のひざを曲げ、体を横向きにする。下半身の汚れた部位を蒸しタオルなどで拭く。



④古いおむつを手前から半分ほどクルクルと丸める。新しいおむつの端を体の下へ入れ込み、背中中のウエストの中心におむつの上部の中心があるように調整する。

⑤体を反対向きにし、古いおむつを取り出して丸めて捨てる。

⑥体をあおむけの状態に戻し、両足をやや開く。**ギャザーを立てながらおむつを引き上げる**。足の付け根にぴったりとフィットするようにする。パッドがはずれないように注意。



⑦テープ止めをする。両サイドの下のテープ(足に近い方)を先に止める。

9月介護者のつと

と き **9月21日(金)**
午前9時～午後5時30分(予定)

行き先 兵庫ヤクルト工場
かんでかんで(バイキング)

対象者 介護者のつと登録者

内容 おでかけ

参加費 1,000円(当日徴収)

定員 40名 ※8月27日現在29名です。

申込期日 8月1日(水)～9月7日(金)まで
※但し、定員になり次第締め切ります。

◆参加される方には後日お迎えの時間等をご案内します。また申込み後、やむを得ず欠席される場合は必ずご連絡ください。

まだの方は
ぜひお申込みください!

10月介護者のつと

と き **10月16日(火)**
午前10時～11時30分

ところ 交流会館

内容 健康体操
～ヨガでリフレッシュ～

参加費 200円

持ち物 タオル



《お問い合わせ、ご連絡先》

多可町社会福祉協議会

本部・中支部 32-3425

加美支部 30-8151

八千代支部 37-0360